

ボランティアのすすめ

平成16年度もう終わりを迎えます。今年度を振り返ってみて何を思いますか。天災の多い年だったという記憶が残っている人が多いのではないのでしょうか。そして2～3日前にはまた福岡で地震。死者の多い大惨事には至らなかったものの、被害をうけられた方々の心情ははかりしれません。そして誰もが、他人事とは言っていられないのです。

原点に戻り、「今、なぜボランティア？」これについて考えてみてもよいでしょう。いま、ボランティアという言葉がさかんにいわれていますが、昔も困っている人、苦しんでいる人はたくさんいました。でもそのときは、ボランティアという言葉は使っていなかったのです。今は人間が生活するのにゆとりがでてきたから、困っている人のことを考えられるようになったのでしょうか？ 色々なところで地雷をうめたり、ミサイルを発射したりということが多くなって、助けを必要とする人が多くなったからでしょうか？

昔は、ボランティアとわざわざ言わなくても、皆が近所の掃除をしたり、互いの家の子供の面倒をみたりしていたのかもしれない。また、高齢化が進み、お年よりが多くその必然性が出てきたこともあるでしょう。私たちの周りには、色々な事情でやりたいことができずに困っている人がいます。皆が楽しく暮らしていくためには、できる範囲で少しずつ助けあうことが必要です。人間だけでなく、大切な地球の自然を守るためにも助け合いは必要なのです。

自分がどういったボランティアに向いているのか、いまだきっかけが作れない人に情報です。ボランティアにも色々な分野があります。

環境ボランティア

自然破壊・環境汚染ということに取り組むことも大事ですが、道を歩いている時にポイッとゴミを捨てないこと、海や山に行った時にゴミが落ちていたら、それをちょっと拾って持ち帰ることもボランティアです。

障害者ボランティア

障害がある人に接して、互いに理解しあっていくことが大事です。「かわいそうだから」ではなく、対等につきあっていくという気持ち大切です。目の不自由な人が通りかかった時に、手を貸してあげることもボランティアです。

リサイクルボランティア

捨ててしまえばただのゴミ。でも空き缶や古紙など、リサイクルできるものは貴重な資源です。リサイクル商品を買うこと、使い捨て容器に入った商品を買わないこともボランティアです。

心のボランティア

お年寄りとお話すること、話を聞いてあげるだけでも立派なボランティアです。心と心のふれあう話相手になれるとよいですね。

編集後記

この3月にオーストラリア研修に行ってきました。ホストマザーが盲学校の先生をしておられました。点字を教えていただき、タイプをうってきました。

点字をおぼえよう

点字は6つのでっばった点の組み合わせで作られています。6つの点には、それぞれ場所をあらわす番号がついています。そのでっばっている点を手でさわって、左から右へ、横に読んでいくのです。

- ・・・母音をあらわす点
- ・・・子音をあらわす点



さあ春休み、あなたは何をして多くの人の笑顔に出会えますか。